



令和5年度 普賢寺小学校学校経営方針

本校は今年、創立 150 周年を迎える歴史と伝統のある学校である。平成 19 年度より小規模特認制度をスタートさせ、京田辺市全域から希望する児童が通学できるようになり、児童数が一定数保てるようになった。また平成 27 年度には学校運営協議会（愛称：なのはな委員会）が設置され、「地域を誇れる子ども」「自分の学校を誇れる子ども」の育成に取り組んでいるコミュニティースクールである。

児童の実態と地域の課題に即した教育課程を編成し、個に応じた教育活動を推進するとともに、自ら将来の姿を描きながら主体的に学習する児童を育成する。また、人を思いやり、多様な人とながり、ともに育ち、たくましく歩み続けることのできる児童の育成に努める。

そのために、児童の自己肯定感、コミュニケーション能力、自己表現能力を高めるとともに、人を大切にする優しさと思いやりのある心を培う指導を行っていく。

◇ 学校教育目標

人と豊かにかかわり 進んで学びあう 普賢寺っ子

◇ めざす児童像 ～知・徳・体の調和のとれた児童の育成～

- (1) 進んで学び、よく考える子
- (2) 仲良く、協力し合える子
- (3) ねばり強く、最後までがんばれる子

◇ めざす学校像 ～みんなが行きたい学校～

- (1) 児童・教職員が活気あふれる学校
- (2) 少人数ならではの魅力ある学校
- (3) 地域とともに歩み続ける学校
- (4) 学校・家庭・地域で感謝と感動を共有できる学校

◇ めざす教職員像 ～連携と協働～

- (1) 自らの資質を高め、社会の変化やニーズに柔軟に対応する教職員
- (2) 児童一人一人を理解し、組織体制で児童の成長を見守る教職員
- (3) 教員としての使命感の中に、やりがいを感じる教職員
- (4) 地域の人材を活用し、特色を生かした授業づくりを推進する教職員

【学校経営方針(中期経営目標)】

- (1) 学校の特色を生かした教育活動を推進する。
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる。
- (3) 多様な人となつがり、自己肯定感を高める。
- (4) 粘り強く挑戦できる心と身体の育成に向けた教育活動を推進する。
- (5) 教職員の連携・協働により児童を多面的に支援できる組織体制を確立する。
- (6) 安心・安全で豊かな教育環境及び職場環境づくりに努める

【学校経営の重点(短期経営目標)】

- (1) ～知・徳・体の調和のとれた児童の育成～のために
 - ① 「のびのびタイム」にタブレットを活用して、児童自身で調整しながら学習が進めていけるようにする。
 - ② 障がい者施設や高齢者施設、幼稚園等との連携を図り、多様な人との関わりから他者理解を深めたり、自己有用感を高めたりする。
 - ③ 体育の時間を中心に、体を動かす楽しさを味わい、より運動に親しむ習慣を身につけ、体力の向上を目指す。
 - ④ 地域文化を継承するために地域の方を講師として呼ぶなど、地域学習の充実を図る。
- (2) ～みんなが行きたい学校～になるために
 - ① 児童会（運営委員会）の取組を活性化させ、一人一人がいきいきと輝ける活動にする。
 - ② 地域と連携した様々な取組を、体験活動のみに留まらず、地域の人々と協働的な学びを創造していくことにより、学校・地域の活性化を図る。
 - ③ 縦割りグループやなのはな委員会の取組で、自己有用感や上級生への憧れ、相手を思う気持ちを育成する。
 - ④ あいさつ運動、雲上大遠足などの行事に地域の方を招待し、子どもの頑張りや笑顔を届けられるような取組を推進する。
- (3) ～連携と協働～で教員の働きがい改革を推進するために
 - ① 教科担任制の導入により、指導内容の工夫・改善をさらに進め、多面的に児童に対する理解を深める。
 - ② 児童の支援体制については、担任が抱え込むことなく、特別支援教育部・生徒指導部・教育相談部が一体となって支援していけるよう、組織体制の改善・充実を図る。
 - ③ 特に不登校児童の支援体制を強化する。（別室登校や ICT の活用など）
- (4) 魅力ある学校となるために
 - ① なのはな委員会や PTA と連携し、地域人材の有効な活用を進める。
 - ② ホームページや学校だより「おちばすぎ」で学校の取組を多く発信する。

【重点研究】

子どもの気付き・思考を生かして、運動能力が高められる授業作り・取組